

## 080118 水力発電の未来(社長講演/ダム工学会主催)

1月18日、東京都千代田区永田町の星陵会館において、ダム工学会主催の「第13回講習会—先憂後楽—」が開催され、全5編の発表のうち『水力発電の未来』と題して当社藤野社長が講演を行いました。

新たな水力発電所の建設が下火となるなか、ダム工学会の講習会小委員会から、代表的な再生可能エネルギーである水力発電について、元気が出るような内容をとの要望により、今回の講演テーマ『水力発電の未来』となりました。

ダム工学会は、主に建設業・機械メーカー・建設コンサルタントなどからなる産業界、国土交通省などの官庁、法人、大学などに所属する広い分野の会員が集う学際的協力により運営される学会であり、今回も各分野から多くの参加がありました。上記講演のほかには、レベル2地震動対策、地震と洪水の複合災害、ダムのアセットマネジメント、ダム新技術のひとつである台形CSGの施工など、ダム建設や維持管理に関するホットな話題に対して、活発な質疑が交わされました。

『水力発電の未来』は、J-POWER(電源開発株式会社)時代から今日に至る講師自身の経験、IEA(国際エネルギー機関)における活動、および各種報告などを基にした講演であり、国際的なエネルギーに関する話題から環境面における水力発電の分析、火力や原子力発電との関連、世界の包蔵水力、国内における水力発電助成策など多岐にわたる内容が網羅され、今後着目し開発の促進が期待される技術として、途上国において開発した水力エネルギーを水素に変換して輸送し、輸入する構想があることなども報告されました。

水力発電の促進、あるいは地震防災上の備えなどを行っておくことについては、今回の講演会総合テーマである「天下の人びとに先んじて憂い、天下の人びとに後れて楽しむ—先憂後楽—」に繋がるものと感じいった次第です。



### 水力発電の夢

- ＊ 地球環境問題の救世主と位置づける
- ＊ ローカルな環境問題とのトレードオフ関係を整理
- ＊ 分散型中小水力の普及
- ＊ 水素を輸送手段として途上国から水力エネルギーを開発輸入

42

講演のまとめ

<http://www.kdc.co.jp/other/pdf/t>

ISO認証取得



※認証取得範囲 藤開発設計コンサルタント 本社